

令和4年5月27日

北朝鮮のミサイル発射に抗議する

核兵器廃絶・平和建設国民会議
(略称 KAKKIN)
事務局長 岩附 宏幸

5月25日、北朝鮮が弾道ミサイル3発を発射した。北朝鮮は今年になって16回ものミサイル発射を繰り返している。日本とその周辺地域、国際社会の平和と安定を脅かすものであり強く抗議する。

5月21日からの一連の米韓、日米首脳会談や日米豪印の「クアッド」首脳会合は、北朝鮮の核・ミサイル開発を批判し、完全な非核化に向けた協力を確認していた。今回の発射はその直後で、まさにこれら国際社会の声や国連安全保障理事会の決議に挑戦するものだ。

そして、運搬手段としてのミサイル開発は核攻撃能力の向上につながる。北朝鮮は4月25日、核兵器の先制使用を辞さないことを示唆しており、現在7回目の核実験の準備を進めていると報道されている。北朝鮮の核兵器の保有は、わが国の安全保障に対する重大かつ差し迫った脅威であり、地域及び国際社会の平和と安全を著しく損なうものとして断じて容認できない。

日本、米国、韓国は連携して北朝鮮の行動を警戒監視し、経済と軍事の両面で圧力を強めて、核兵器・ミサイルの放棄を迫るべきである。

以上